

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (学校教育教員養成課程 共通部分)

学習・教育目標 基礎教育	(α) 英語	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる。 (B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。 (C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。 (D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。 (E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。
	(β) スポーツ	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ) 教養	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができていく。		

時間割コード	授業科目名	担当者氏名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記				
						学習・教育目標の項目との 0.0, 0.1, 0.2, . . . , 0.1 の数値で表す				
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)

教育基礎科目群

教育基礎科目

S103103	教育行政学	小野瀬善行	教育行政の基本原則と制度を概説し、それらが教育政策にどのように反映されているか、またどのような問題・課題を抱えているかについて具体的なデータや事例をもとに講義をする。	教育免許状取得に必要な選択必須科目であり、「教育の基礎理論に関する科目」のうち「教育に関する社会的、制度的または経営的事項に関する科目」に属している。専門教育学習・教育目標のうち「(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる」、「(D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。」と深い関連がある。	・公教育の理念と制度に関する基礎的知識を習得する。 ・中央・地方の教育行政の具体的な姿と課題について理解する。 ・公教育の権限関係、地方分権、学校の自立性、教育財政などをめぐる今日の問題について理解し、自分なりに考察することができるようにする。	0.0	0.0	0.0	0.3	0.1
S103200	教育制度	小野瀬善行	公教育制度の基本原則と役割、発達段階に応じた教育制度の歴史、構造、理念、現状、課題について講義を行う。	教育免許状取得に必要な選択必須科目であり、「教育の基礎理論に関する科目」のうち「教育に関する社会的、制度的または経営的事項に関する科目」に属するものである。専門教育学習・教育目標のうち「(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる」及び「(D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。」と深い関連がある。	・日本の教育制度の歴史、構造、理念、現状、課題について基礎的な知識を習得することができる。 ・自分の経験と客観的な事実を重ね合わせて様々な教育事象を捉え、考察することができる。	0.0	0.0	0.0	0.4	0.1
S103308	生涯学習社会論	廣瀬陸人	現代的課題に係わる具体的事象を生涯学習・社会教育の視点から検討していくことによって、生涯学習社会の諸相を明らかにしていく。そのことを通じて、社会的緒事象から「学習」の要素を導きだしていく。この授業では、生涯学習社会を支える市民としての自己教育と相互教育によって自らを高めていくことができる力量の形成を目指す。	この科目は社会教育主事資格を取得する際に必要な科目である。生涯学習概論も履修することによって、社会教育主事資格取得に必要な科目となる。	生涯学習、社会教育の本質について理解を図るとともに、主として学校と地域の連携をベースとした学校との関係性の中で生涯学習社会をとらえ直していく。①社会教育・生涯学習の違いを明確に説明できる。②小集団学習、共同学習を体験的理解し、小集団で話し合うことができる。③社会的事象から、学習要素を抽出し何が社会教育なのかを具体的に説明できる。④映像教材から、学習の要素を抽出し、それらをまとめることができる。⑤学校と地域の連携の必要性を説明できる。	0.0	0.0	0.0	0.3	0.3

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (学校教育教員養成課程 共通部分)

学習・ 基礎教育 教育目標	(α 英語)	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる。 (B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。 (C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。 (D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。 (E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。
	(β スポーツ)	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ 教養)	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができていく。		

時間割コード	授業科目名	担当者氏名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記				
						学習・教育目標の項目との 0.0, 0.1, 0.2, . . . , 0.1 の数値で表す				
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)
S103350	教育社会学	小原一馬	個人と社会の関係を教育現象に着目することで考える。	共通教職の選択科目の一つであり、教師になる上で、教育を社会と個人の関係から見ていく能力を育む。	教育を、個人の視点からだけではなく、社会というレベルで見られるようになる、つまり社会的な見方で見られるようになること。	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3
S103405	道徳教育	和井内良樹	本授業では、学校における道徳教育の理論と実際を学ぶと共に、小中学校での「道徳の時間」における授業理論及び指導方法について理解を深め、「道徳の時間」を指導する授業者としての基本的な技能を習得することを旨とする。今日、道徳性を養う道徳教育の重要性が叫ばれる一方で、実際に行われる道徳授業の形骸化などの問題が指摘されている。このことも踏まえ、豊かな心を育み、生徒にとって魅力ある「道徳の時間」の在り方について考えていきたい。	「課程共通科目Ⅰ」の「C共通教職」の必修科目である。小中学校の教員免許を取得するための必修科目である。専門教育学習・教育目標のうち「(B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。」及び「(C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。」と深い関連がある。	学習指導要領における道徳教育の目標及び「道徳の時間」の特質について理解できる。「道徳の時間」の理論と指導方法について理解できる。学習指導案を作成し道徳授業を構想することができる。	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5
S103421	道徳教育	和井内良樹	本授業では、学校における道徳教育の理論と実際を学ぶと共に、小中学校での「道徳の時間」における授業理論及び指導方法について理解を深め、「道徳の時間」を指導する授業者としての基本的な技能を習得することを旨とする。今日、道徳性を養う道徳教育の重要性が叫ばれる一方で、実際に行われる道徳授業の形骸化などの問題が指摘されている。このことも踏まえ、豊かな心を育み、生徒にとって魅力ある「道徳の時間」の在り方について考えていきたい。	「課程共通科目Ⅰ」の「C共通教職」の必修科目である。小中学校の教員免許を取得するための必修科目である。専門教育学習・教育目標のうち「(B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。」及び「(C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。」と深い関連がある。	学習指導要領における道徳教育の目標及び「道徳の時間」の特質について理解できる。「道徳の時間」の理論と指導方法について理解できる。学習指導案を作成し道徳授業を構想することができる。	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5
S103413	道徳教育	上原秀一	小中学校における道徳教育に関する基礎的な知識を習得する。	「課程共通科目Ⅰ」の「C共通教職」の必修科目である。小中学校の教員免許を取得するための必修科目である。専門教育学習・教育目標のうち「(B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。」及び「(C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。」と深い関連がある。	・小中学校学習指導要領における道徳教育の位置付けを理解する。 ・小中学校の道徳の時間における授業の在り方について理解する。	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (学校教育教員養成課程 共通部分)

学習・ 基礎教育 教育目標	(α 英語)	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる。 (B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。 (C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。 (D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。 (E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。
	(β スポーツ)	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ 教養)	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができていく。		

時間割コード	授業科目名	担当者氏名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記				
						学習・教育目標の項目との 0.0, 0.1, 0.2, . . . , 0.1 の数値で表す				
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)
S158500	特別活動論	丸山剛史	授業では、特別活動の意義、歴史的背景、現状、論点について講義を行う。	教職に関する基礎的科目の一つであり、「教育原論」等の共通的・入門的内容の学習をふまえ、学校の教育課程の構成及び内容に関して学習する。専門教育学習・教育目標のうち「(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる」、「(B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。」、「(C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。」、「(D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。」及び「(E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。」と深い関連がある。	(1) 特別活動は、学級活動・ホームルーム活動、児童会・生徒会活動、クラブ活動、学校行事から構成されていることがわかる。 (2) 特別活動では、学校・学級における児童・生徒の共同の生活の向上や理想・利益の追求に取り組み、人権・人格を尊重し、統治的能力を形成し、広範多様な交友関係を育成・拡大し、市民社会を視野に入れた道徳性・文化性を発達させることが重要であることがわかる。 (3) 特別活動の指導にあたっては、①教師が直接に組織的・集団的活動を指導する、②児童・生徒の自立的活動を指導する、③個別の相談・指導、④子ども相互の交友・交際の指導を組み合わせて指導を行うことがわかる。 (4) 特別活動の指導計画・学習指導案を適切に作成することができる。	0.0	0.0	0.0	0.3	0.3
S158510	特別活動論	(柴沼俊輔)	授業では、特別活動の意義、歴史的背景、現状、論点について講義を行う。	教職に関する基礎的科目の一つであり、「教育原論」等の共通的・入門的内容の学習をふまえ、学校の教育課程の構成及び内容に関して学習する。専門教育学習・教育目標のうち「(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる」、「(B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。」、「(C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。」、「(D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。」及び「(E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。」と深い関連がある。	(1) 特別活動は、学級活動・ホームルーム活動、児童会・生徒会活動、クラブ活動、学校行事から構成されていることがわかる。 (2) 特別活動では、学校・学級における児童・生徒の共同の生活の向上や理想・利益の追求に取り組み、人権・人格を尊重し、統治的能力を形成し、広範多様な交友関係を育成・拡大し、市民社会を視野に入れた道徳性・文化性を発達させることが重要であることがわかる。 (3) 特別活動の指導にあたっては、①教師が直接に組織的・集団的活動を指導する、②児童・生徒の自立的活動を指導する、③個別の相談・指導、④子ども相互の交友・交際の指導を組み合わせて指導を行うことがわかる。 (4) 特別活動の指導計画・学習指導案を適切に作成することができる。	0.0	0.0	0.0	0.3	0.3

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (学校教育教員養成課程 共通部分)

学習・ 基礎教育 教育目標	(α) 英語	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる。 (B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。 (C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。 (D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。 (E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。
	(β) 保健	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ) 教養	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができていく。		

時間割コード	授業科目名	担当者氏名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記				
						学習・教育目標の項目との 0.0, 0.1, 0.2, . . . , 0.1 の数値で表す				
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)
S103707	生徒指導・進路指導	澤田匡人	児童・生徒の健全な発達の促進と、彼らの充実した学校生活を援助するための教育活動に役立つ理論と方法を「学習指導」「適応指導(教育相談を含む)」「進路指導」などの諸側面に大別した上で、個別の具体的なテーマについてそれぞれ解説していきます。	教員になった場合に、学校教育で必要とされる生徒指導・進路指導の基礎となる考え方や関連する現象についての知識を網羅的に習得することを目指します。専門教育学習・教育目標のうち「(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる」及び「(B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。」と深い関連がある。	生徒指導・進路指導(生徒のよりよい発達の促進と、充実した学校生活を援助するための教育活動)に関するさまざまな現象の理解を深めます。	0.0	0.0	0.1	0.3	0.3
S107303	生徒指導・進路指導	澤田匡人	児童・生徒の健全な発達の促進と、彼らの充実した学校生活を援助するための教育活動に役立つ理論と方法を「学習指導」「適応指導(教育相談を含む)」「進路指導」などの諸側面に大別した上で、個別の具体的なテーマについてそれぞれ解説していきます。	教員になった場合に、学校教育で必要とされる生徒指導・進路指導の基礎となる考え方や関連する現象についての知識を網羅的に習得することを目指します。専門教育学習・教育目標のうち「(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる」及び「(B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。」と深い関連がある。	生徒指導・進路指導(生徒のよりよい発達の促進と、充実した学校生活を援助するための教育活動)に関するさまざまな現象の理解を深めます。	0.0	0.0	0.1	0.3	0.3
S103901	教育相談	川原誠司	教育相談に関連した「子ども理解の諸側面」を学び、「教師として関わることの意義と問題点」「他者や他機関とのつながり」についても学ぶ。カウンセリングや行動療法的改善等の「実際の関わりの方法」についてもミニ実習する。	本授業は、学校教育教員養成課程の教職に関する科目(課程共通科目Ⅰ)であり、また総合人間形成課程人間発達領域の領域専門科目である。各課程や領域の専門性を高めるという目標に対応している。専門教育学習・教育目標のうち「(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる」、「(B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。」、「(D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。」及び「(E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。」と深い関連がある。	教師という立場から子どもの心理的な側面をつかみ、働きかけることの重要性を実感する。自らが教師になる際にそのような意識をしっかりと持てるように基本的な知識や視点を習得する。	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (学校教育教員養成課程 共通部分)

学習・教育目標 基盤教育	(α 英語)	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる。 (B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。 (C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。 (D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。 (E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。
	(β スポーツ)	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ 教養)	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができていく。		

時間割コード	授業科目名	担当者氏名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記				
						学習・教育目標の項目との 0.0, 0.1, 0.2, . . . , 0.1 の数値で表す				
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)
S103910	教育相談	白石智子	教育相談の領域、対象、方法に関する基礎的な知識を学んだ上で、それらをどのように活用するかという実践的な課題について検討する。	本授業は、学校教育教員養成課程の課程共通科目、総合人間形成課程の人間発達領域専門科目に含まれるものであり、各課程・領域における専門性を高めるという目標に対応している。専門教育学習・教育目標のうち「(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる」及び「(D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。」と深い関連がある。	教育相談の位置づけおよび理論と実践について最低限の知識を身につけること、また、受講生各々が自分なりの「教育相談の視点」をもち実生活に役立てることを目標とする。	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0

小学校教科

同内容を2講座開設	国語	鈴木啓子, 中島望, 守安敏久	オムニバス形式で開設する。それぞれの学問分野の専門性に基づいて、教育現場に即した事例・教材の提示・解説を行い、小学校で国語を教える際に必要な、日本語・書写に関する基礎的知識、文学的教材を扱う際の基礎的スキルを具体的に講義する。	小学校教員免許取得のための免許法指定科目「国語（書写を含む）」に対応する授業科目として開設する。「国語」という教科の特色・意義を、「書写」「国語学」「国文学」の3分野を通して学び、小学校で国語を教える際に必要な態度・知識・技能を修得する。	・「国語」の特色と意義について深く理解する。 ・小学校の教員として必要な「書写」の指導法に関する基礎的な知識を修得する。 ・小学校で国語を指導する際に必要となる、「日本語」に関する基礎知識を修得する。 ・小学校「国語」で「文学的教材」を扱う際に必要となる態度・知識・技能を修得する。	0.0	0.0	0.0	0.6	0.1
S101100	算数	牧野智彦, 北川義久, 酒井一博	本授業では、教科の中で我々が慣れ親しんでいる「数」や「図形」について、その性質を数学の立場から考察し、数や図形のもつ面白さや奥深さについて講義する。また、それら数学的背景を踏まえ、具体例をもとに教科内容の必要性・重要性を探る。	小学校教員免許取得に必須の科目である。本授業では、教科内容の数学的背景を探り、それらの学校数学における重要性について、専門的理解を深める。	・算数科の内容である「数」と「図形」に関して、数学的背景が分かる ・教科内容としての重要性の理解を深める	0.0	0.0	0.1	0.6	0.3
S101105	算数	日野圭子, 酒井一博, 三橋秀生	本授業では、教科の中で我々が慣れ親しんでいる「数」や「図形」について、その性質を数学の立場から考察し、数や図形のもつ面白さや奥深さについて講義する。また、それら数学的背景を踏まえ、具体例をもとに教科内容の必要性・重要性を探る。	小学校教員免許取得に必須の科目である。本授業では、教科内容の数学的背景を探り、それらの学校数学における重要性について、専門的理解を深める。	・算数科の内容である「数」と「図形」に関して、数学的背景が分かる ・教科内容としての重要性の理解を深める	0.0	0.0	0.1	0.6	0.3

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (学校教育教員養成課程 共通部分)

学習・教育目標 基盤教育	(α) 英語	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる。 (B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。 (C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。 (D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。 (E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。
	(β) スポーツ	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ) 教養	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができていく。		

時間割コード	授業科目名	担当者氏名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記				
						学習・教育目標の項目との 0.0, 0.1, 0.2, . . . , 0.1 の数値で表す				
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)
S101205	社会	小原, 山田(有), 松村(啓), 下田	小学校教科「社会科」の基礎となる学問諸分野(社会学・地理学・歴史学・倫理学・国際理解分野等)における問題をそれぞれとりあげ、初等教育および中等教育の「社会科」を教えるための基礎教養を提供する。複数名の教員が交替で講義する。	学校教育教員養成課程における学部専門教育科目の必修科目である。小学校教科「社会科」の基礎教養を提供する授業である。	・「社会科」の授業で扱う内容について、関連する学問諸分野の見方、考え方を学ぶ。 ・「社会科」の実際の授業展開に必要な教養を身につける。	0.0	0.0	0.0	0.3	0.2
S101300	理科	山田, (未定), 上田, 中村	小・中学校の教科書を大学生の目で見直す。小・中学校当時には見ることができなかった側面が見えてくる。すなわち小・中学生に比較して幅広い体験を有する大学生には、小・中学校生徒とは異なった切り口から小・中学校の教科書記載の内容の考察が可能となる。本講義では小・中学校教科書記載の課題の中で、特に論理的思考力を要する課題を取り上げる。	小学校教科内容の基本的理解	理科教育の目的のひとつは自然現象を理解し、論理的な思考力を培うことであり、本講義でもそれらを目標及びねらいとする。	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2
S101305	理科	井口, 松居, 堀田, 南	小・中学校の教科書を大学生の目で見直す。小・中学校当時には見ることができなかった側面が見えてくる。すなわち小・中学生に比較して幅広い体験を有する大学生には、小・中学校生徒とは異なった切り口から小・中学校の教科書記載の内容の考察が可能となる。本講義では小・中学校教科書記載の課題の中で、特に論理的思考力を要する課題を取り上げる。	小学校教科内容の基本的理解	理科教育の目的のひとつは自然現象を理解し、論理的な思考力を培うことであり、本講義でもそれらを目標及びねらいとする。	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2
S101410	生活	井口智文(代表)	生活科教育の基盤となる社会・自然・表現などの学習的背景を捉えるとともに、生活科の活動を構成する観察・製作・表現などにおけるさまざまな「気づき」や求められる技法等を実践を通して身につける。また、生活科における学習概念ならびに評価の在り方をとらえ、本学教育学部附属小学校における生活科授業参観を行うなどして、学習指導案作成の手順など教育現場に直結した講義を通して生活科への理解を深める。	小学校教員免許取得のため必要性が高い。生活科教育法との関連をもたせるとともに、小学校教科専門として位置づけられている	授業の内容で示したような生活科への理解を深めることができること。また、各教員の授業において、それぞれ到達目標が示される。	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (学校教育教員養成課程 共通部分)

学習・教育目標 基礎教育	(α) 英語	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる。 (B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。 (C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。 (D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。 (E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。
	(β) スポーツ	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ) 教養	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができていく。		

時間割コード	授業科目名	担当者氏名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記				
						学習・教育目標の項目との 0.0, 0.1, 0.2, . . . , 0.1 の数値で表す				
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)
	家庭	陣内雄次, 佐々木和也, 大森玲子	食生活、衣生活、住生活の分野から家庭生活に関して講義する。食生活領域では、食に関する基本的な内容について取扱い、食育についても取り上げる。衣生活領域については、着ることの意味を考えながら、衣生活について概説する。住生活領域については、小学校家庭科における住生活の学習に関する基礎、及び住生活と個人、住生活と家庭との関係を概説する。	小学校教員免許取得に必須の科目である。本授業では、家庭生活について、家政学としての専門性に基づいた上で、実践的な理解を深める。	食生活、衣生活、住生活の分野から、家庭科教員として必要な家庭生活について理解を深める。	0.0	0.0	0.0	0.3	0.2
	家庭	陣内雄次, 佐々木和也, 大森玲子	食生活、衣生活、住生活の分野から家庭生活に関して講義する。食生活領域では、食に関する基本的な内容について取扱い、食育についても取り上げる。衣生活領域については、着ることの意味を考えながら、衣生活について概説する。住生活領域については、小学校家庭科における住生活の学習に関する基礎、及び住生活と個人、住生活と家庭との関係を概説する。	小学校教員免許取得に必須の科目である。本授業では、家庭生活について、家政学としての専門性に基づいた上で、実践的な理解を深める。	食生活、衣生活、住生活の分野から、家庭科教員として必要な家庭生活について理解を深める。	0.0	0.0	0.0	0.3	0.2
	音楽A	新井 恵美	小学校の教員が音楽科の授業を行う際に必要な楽典（楽譜の読み方等）、楽器（リコーダー、打楽器など）の奏法、歌唱について扱う。	小学校教諭免許取得に必須の科目。小学校教員になるために必要な音楽実技を修得する。	実技等の実践を通して、小学校音楽科の授業を行うのに最低限必要な知識、技能を修得する。	0.0	0.0	0.0	0.3	0.1
	音楽A	新井 恵美	小学校の教員が音楽科の授業を行う際に必要な楽典（楽譜の読み方等）、楽器（リコーダー、打楽器など）の奏法、歌唱について扱う。	小学校教諭免許取得に必須の科目。小学校教員になるために必要な音楽実技を修得する。	実技等の実践を通して、小学校音楽科の授業を行うのに最低限必要な知識、技能を修得する。	0.0	0.0	0.0	0.3	0.1
	音楽A	高島 章悟	小学校の教員が音楽科の授業を行う際に必要な楽典（楽譜の読み方等）、楽器（リコーダー、打楽器など）の奏法、歌唱について扱う。	小学校教諭免許取得に必須の科目。小学校教員になるために必要な音楽実技を修得する。	実技等の実践を通して、小学校音楽科の授業を行うのに最低限必要な知識、技能を修得する。	0.0	0.0	0.0	0.5	0.1
	音楽A	高島 章悟	小学校の教員が音楽科の授業を行う際に必要な楽典（楽譜の読み方等）、楽器（リコーダー、打楽器など）の奏法、歌唱について扱う。	小学校教諭免許取得に必須の科目。小学校教員になるために必要な音楽実技を修得する。	実技等の実践を通して、小学校音楽科の授業を行うのに最低限必要な知識、技能を修得する。	0.0	0.0	0.0	0.5	0.1

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (学校教育教員養成課程 共通部分)

学習・教育目標 基礎教育	(α) 英語	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる。 (B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。 (C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。 (D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。 (E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。
	(β) 保健	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ) 教養	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができていく。		

時間割コード	授業科目名	担当者氏名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記				
						学習・教育目標の項目との 0.0, 0.1, 0.2, . . . , 0.1 の数値で表す				
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)
	音楽B	高島 章悟	小学校の教員が音楽科の授業を行う際に必要な歌唱、ピアノ伴奏の指導と楽典の指導を行う。	小学校教員養成課程の音楽における歌唱指導に必要な音楽の実技と楽典の知識を修得する。	実技の実践等を通して、小学校音楽科の授業を行うのに最低限必要な知識、技能の修得をめざす。 歌唱教材の実践（歌唱、伴奏）	0.0	0.0	0.0	0.3	0.2
	音楽B	高島 章悟	小学校の教員が音楽科の授業を行う際に必要な歌唱、ピアノ伴奏の指導と楽典の指導を行う。	小学校教員養成課程の音楽における歌唱指導に必要な音楽の実技と楽典の知識を修得する。	実技の実践等を通して、小学校音楽科の授業を行うのに最低限必要な知識、技能の修得をめざす。 歌唱教材の実践（歌唱、伴奏）	0.0	0.0	0.0	0.3	0.2
S101763	図画工作A	山口喜雄	小学校図画工作の実技指導に関する基礎編で、理念・理論実践の全体像の形成ができるように学習内容を配列している。例えば、年間の学習方針、やる気の引き出し方、安全指導なども実技学習に対応させている。児童が取り組む表現や鑑賞の具体的内容だけでなく、それらの授業実践を支える理念の学習も行い、児童の多様な状況に対応した指導力を身につけられるよう工夫している。	「課程選択」ではあるが、造形表現をとおして児童の心理理解に不可欠な選択科目である。特に我が国の美術文化あるいは自他の造形表現と鑑賞の理解を重視しているため、受講生が小学生期に造形表現が不得意であった場合は、本授業の受講を通して不得意という意識からの脱却が求められる。	児童が取り組む表現や鑑賞の具体的内容の学習を通して、小学校図画工作の実技指導に関する基礎な理念・理論実践の全体像の形成を目的としています。	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3
S101771	図画工作A	山口喜雄	小学校図画工作の実技指導に関する基礎編で、理念・理論実践の全体像の形成ができるように学習内容を配列している。例えば、年間の学習方針、やる気の引き出し方、安全指導なども実技学習に対応させている。児童が取り組む表現や鑑賞の具体的内容だけでなく、それらの授業実践を支える理念の学習も行い、児童の多様な状況に対応した指導力を身につけられるよう工夫している。	「課程選択」ではあるが、造形表現をとおして児童の心理理解に不可欠な選択科目である。特に我が国の美術文化あるいは自他の造形表現と鑑賞の理解を重視しているため、受講生が小学生期に造形表現が不得意であった場合は、本授業の受講を通して不得意という意識からの脱却が求められる。	児童が取り組む表現や鑑賞の具体的内容の学習を通して、小学校図画工作の実技指導に関する基礎な理念・理論実践の全体像の形成を目的としている。	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3
S101785	図画工作A	山口喜雄	小学校図画工作の実技指導に関する基礎編で、理念・理論実践の全体像の形成ができるように学習内容を配列している。例えば、年間の学習方針、やる気の引き出し方、安全指導なども実技学習に対応させている。児童が取り組む表現や鑑賞の具体的内容だけでなく、それらの授業実践を支える理念の学習も行い、児童の多様な状況に対応した指導力を身につけられるよう工夫している。	「課程選択」ではあるが、造形表現をとおして児童の心理理解に不可欠な選択科目である。特に我が国の美術文化あるいは自他の造形表現と鑑賞の理解を重視しているため、受講生が小学生期に造形表現が不得意であった場合は、本授業の受講を通して不得意という意識からの脱却が求められる。	児童が取り組む表現や鑑賞の具体的内容の学習を通して、小学校図画工作の実技指導に関する基礎な理念・理論実践の全体像の形成を目的としている。	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (学校教育教員養成課程 共通部分)

学習・教育目標 基盤教育	(α 英語)	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる。 (B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。 (C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。 (D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。 (E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。
	(β スポーツ)	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ 教養)	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができていく。		

時間割コード	授業科目名	担当者氏名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記				
						学習・教育目標の項目との 0.0, 0.1, 0.2, . . . , 0.1 の数値で表す				
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)
S101759	図画工作A	本田悟郎	図画工作科の内容「表現（絵や立体）」「表現（造形遊び）」「鑑賞」各領域について、実技制作を軸に適宜講義を取り入れて、その教育方法や今日的課題、また、授業実践の視点と図画工作の理念を解説する。	小学校図画工作科学習指導の素養を身につけ、実践のための能力を育成する。	小学校図画工作科の内容について理解を深め、創造的且つ個性や主体性に根ざした図画工作の学習を担う能力を身につけることを目標とする。	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3
S101752	図画工作A	本田悟郎	図画工作科の内容「表現（絵や立体）」「表現（造形遊び）」「鑑賞」各領域について、実技制作を軸に適宜講義を取り入れて、その教育方法や今日的課題、また、授業実践の視点と図画工作の理念を解説する。	小学校図画工作科学習指導の素養を身につけ、実践のための能力を育成する。	小学校図画工作科の内容について理解を深め、創造的且つ個性や主体性に根ざした図画工作の学習を担う能力を身につけることを目標とする。	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3
S101766	図画工作B	山口喜雄	小学校図画工作の実技指導に関する発展編で、変化する多様な状況に対応可能な授業の構想力・実践力の形成ができるように学習内容を配列している。例えば、長期休業後の題材、生涯造形活動を楽しむ人間の育成、空間認識の発達なども実技学習に対応させている。児童が取り組む表現や鑑賞の具体的内容だけでなく、それらの授業実践を支える理念の学習も行い、児童の多様な状況に対応した指導力を身につけられるよう工夫している。	「課程選択」ではあるが、造形表現をとおして児童の心理理解に不可欠な選択科目である。特に我が国の美術文化あるいは自他の造形表現と鑑賞の理解を重視しているため、受講生が小学生期に造形表現が不得意であった場合は、本授業の受講を通して不得意という意識からの脱却が求められる。	児童が取り組む表現や鑑賞の具体的内容の学習を通して、小学校図画工作の発展的な実技指導、変化する多様な状況に対応可能な授業の構想力・実践力の形成を目的としている。	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3
S101775	図画工作B	山口喜雄	小学校図画工作の実技指導に関する基礎編で、理念・理論実践の全体像の形成ができるように学習内容を配列している。例えば、年間の学習方針、やる気の引き出し方、安全指導なども実技学習に対応させている。児童が取り組む表現や鑑賞の具体的内容だけでなく、それらの授業実践を支える理念の学習も行い、児童の多様な状況に対応した指導力を身につけられるよう工夫している。	「課程選択」ではあるが、造形表現をとおして児童の心理理解に不可欠な選択科目である。特に我が国の美術文化あるいは自他の造形表現と鑑賞の理解を重視しているため、受講生が小学生期に造形表現が不得意であった場合は、本授業の受講を通して不得意という意識からの脱却が求められる。	児童が取り組む表現や鑑賞の具体的内容の学習を通して、小学校図画工作の実技指導に関する基礎的な理念・理論実践の全体像の形成を目的としています。	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (学校教育教員養成課程 共通部分)

学習・教育目標 基盤教育	(α) 英語	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる。 (B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。 (C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。 (D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。 (E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。
	(β) スポーツ	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ) 教養	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができていく。		

時間割コード	授業科目名	担当者氏名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記				
						学習・教育目標の項目との 0.0, 0.1, 0.2, . . . , 0.1 の数値で表す				
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)
S101789	図画工作B	山口喜雄	小学校図画工作の実技指導に関する発展編で、変化する多様な状況に対応可能な授業の構想力・実践力の形成ができるように学習内容を配列している。例えば、長期休業後の題材、生涯造形活動を楽しむ人間の育成、空間認識の発達なども実技学習に対応させている。児童が取り組む表現や鑑賞の具体的内容だけでなく、それらの授業実践を支える理念の学習も行い、児童の多様な状況に対応した指導力を身につけられるよう工夫している。	「課程選択」ではあるが、造形表現をとおして児童の心理理解に不可欠な選択科目である。特に我が国の美術文化あるいは自他の造形表現と鑑賞の理解を重視しているため、受講生が小学生期に造形表現が不得意であった場合は、本授業の受講を通して不得意という意識からの脱却が求められる。	児童が取り組む表現や鑑賞の具体的内容の学習を通して、小学校図画工作の発展的な実技指導、変化する多様な状況に対応可能な授業の構想力・実践力の形成を目的とする。	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3
S101797	図画工作B	本田悟郎	図画工作科の題材について理解を深めるため、学習指導要領、教科書、また、発達段階や、造形要素など、題材作成に不可欠な視点を演習と講義およびグループ学習から取り上げる。	小学校図画工作科で学習指導を実践するための諸能力向上を図る。	小学校における図画工作科の役割と教科性について理解を深め、個性や主体性、創造性を育む指導実践の能力を高めることを目標とする。	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3
S101805	体育A	加藤謙一, 茅野理子, 黒後洋, 安里春	小学校体育で実施される陸上運動、器械運動、体づくり運動、ボール運動、表現運動および水泳の基本的な技能とその指導法を学ぶ。	本授業は、学校教育教員養成課程専門教育科目の必修科目であり、小学校における体育指導の専門的知識と技能を学び、実践的指導力を体得することを目標とする。	本授業の目標は、小学校体育で実施される陸上運動、器械運動、体づくり運動、ボール運動、表現運動および水泳の基本的な技能とその指導法を習得し、それらの指導能力を身につけることである。	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2
S101814	体育A	加藤謙一, 茅野理子, 黒後洋, 安里春	小学校体育で実施される陸上運動、器械運動、体づくり運動、ボール運動、表現運動および水泳の基本的な技能とその指導法を学ぶ。	本授業は、学校教育教員養成課程専門教育科目の必修科目であり、小学校における体育指導の専門的知識と技能を学び、実践的指導力を体得することを目標とする。	本授業の目標は、小学校体育で実施される陸上運動、器械運動、体づくり運動、ボール運動、表現運動および水泳の基本的な技能とその指導法を習得し、それらの指導能力を身につけることである。	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (学校教育教員養成課程 共通部分)

学習・教育目標 基盤教育	(α 英語)	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる。 (B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。 (C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。 (D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。 (E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。
	(β ボー健)	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ 教養)	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができていく。		

時間割コード	授業科目名	担当者氏名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記				
						学習・教育目標の項目との 0.0, 0.1, 0.2, . . . , 0.1 の数値で表す				
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)
S101824	体育B	茅野 理子, 加藤謙一, 黒後 洋, 久	体育Aを基礎とした上で、さらに陸上運動、体づくり運動、ボール運動、表現運動における発展的な技能とその指導法を学ぶ。また、小学校で扱われる保健の内容についても学ぶ。	本授業は、学校教育教員養成課程専門教育科目の選択科目であり、小学校における体育指導の専門的知識と技能を学び、実践的指導力を体得することを目標とする。	本授業では、体育Aを基礎におき、さらに陸上運動、ボール運動、表現運動およびそれらに関わる体づくり運動の発展的な技能とその指導法を習得し、それらの実践的指導力を身につけることを到達目標とする。また、小学校で扱う保健の学習内容を理解することができる。	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2

小学校教科教育法

S102021	初等国語科教育法	森田香緒里	小学校教科「国語」についての、教材研究法及び指導法について講義する。文学教材や説明的文章教材等、教科書教材を使って教材分析を行い、教育内容の抽出を行う。また、発問や学習活動の設定等の指導法についても、具体的教材をもとに講義する。	小学校教員免許取得に必須の科目。小学校段階の言語発達に応じた教育内容及び教育方法について学ぶ。同時履修となる教科科目「国語」で教科内容の専門的理解を行うのに対し、ここでは教職としての観点から、教材分析及び指導法の基礎的な技能を修得する。	・小学校国語における教材分析法の基礎的な知識・技能を修得する。 ・発問の仕方や指導案及び授業展開の仕組み等の、指導法の基礎について理解する。 ・児童の言語発達についての理解を深める。	0.0	0.0	0.0	0.3	0.1
S102018	初等国語科教育法	飯田和明	小学校の「国語」について、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」に関する教材研究法、および指導法について講義する。(附属学校教員による実地指導も組み込まれている。)	小学校教員免許取得のための必須科目。小学校教育専門科目「国語」との同時履修を原則とし、国語を教えるための知識・技能(教材研究法・指導法)を修得する。中学校一種免許(国語)を取得する学生にとっては「中等国語科教育法」受講のための基礎科目としての役割も持っている。学校教育教員養成課程の「学習・教育目標」達成のためには、特に(A)、(C)に強く関係する。	・小学校国語における教材分析法の基礎的な知識・技能を修得する。 ・発問の仕方や指導案および授業展開の仕組み等の、指導法の基礎について理解する。 ・言語教育の基礎理論や児童の言語発達について理解する。	0.0	0.0	0.0	0.3	0.2
S101832	初等国語科教育法	香西秀信	小学校の「国語」について、文学教材、説明的文章教材、作文教材等の教材研究法および指導方法について講義する。多人数の授業ではあるが、講義形式ではなく、問答形式によって授業を行う。つまり、具体的な教材について、講師が問いを出し、それに受講生が答えたものを講師が論評し、さらに発展的な問答を繰り返すことによって授業を進める。	小学校教員免許取得のための必須科目。小学校教科専門科目「国語」との同時履修を原則とし、国語を教えるための知識・技術(教材研究法・指導法)を修得する。中学校一種免許(国語)を取得する学生にとっては、「中等国語科教育法」受講のための基礎科目としての役割も持っている。	・小学校国語教材(文学教材・説明的文章教材・作文教材)の教材研究法について、基本的な知識・技術を修得する。 ・小学校教科「国語」を教えるための、基本的な指導法を修得する。 ・上記教材研究法・指導法について、その理論的基盤の基礎を理解する。	0.0	0.0	0.0	0.3	0.2

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (学校教育教員養成課程 共通部分)

学習・ 基礎教育 教育目標	(α) 英語	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる。 (B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。 (C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。 (D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。 (E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。
	(β) 保健	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ) 教養	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができていく。		

時間割コード	授業科目名	担当者氏名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記				
						学習・教育目標の項目との 0.0, 0.1, 0.2, . . . , 0.1 の数値で表す				
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)
S102107	算数科教育法	日野圭子	小学校算数科の学習指導に関わる基本的な知識の習得をねらい、算数科の目標、内容、指導方法、評価について、具体的な教材を例に挙げながら講義する。	小学校教員免許取得に必須の科目である。教科科目「算数」で教科内容の専門的理解を深めるのに対して、ここでは、教職の観点から、児童の発達に即した算数の学習指導の基本的事項を学ぶ。	・算数科の目標、内容、指導方法、評価についての基礎的な知識・技能を修得する ・指導案や授業展開の仕組みなど、指導法の基礎について理解する ・児童の算数の学習指導上の実態についての理解を深める	0.0	0.0	0.0	0.3	0.3
S102115	算数科教育法	日野圭子	小学校算数科の学習指導に関わる基本的な知識の習得をねらい、算数科の目標、内容、指導方法、評価について、具体的な教材を例に挙げながら講義する。	小学校教員免許取得に必須の科目である。教科科目「算数」で教科内容の専門的理解を深めるのに対して、ここでは、教職の観点から、児童の発達に即した算数の学習指導の基本的事項を学ぶ。	・算数科の目標、内容、指導方法、評価についての基礎的な知識・技能を修得する ・指導案や授業展開の仕組みなど、指導法の基礎について理解する ・児童の算数の学習指導上の実態についての理解を深める	0.0	0.0	0.0	0.3	0.3
S102123	算数科教育法	牧野智彦	小学校算数科の学習指導に関わる基本的な知識の習得をねらい、算数科の目標、内容、指導方法、評価について、具体的な教材を例に挙げながら講義する。	小学校教員免許取得に必須の科目である。教科科目「算数」で教科内容の専門的理解を深めるのに対して、ここでは、教職の観点から、児童の発達に即した算数の学習指導の基本的事項を学ぶ。	・算数科の目標、内容、指導方法、評価についての基礎的な知識・技能を修得する。 ・指導案や授業展開の仕組みなど、指導法の基礎について理解する。 ・児童の算数の学習指導上の実態についての理解を深める。	0.0	0.0	0.0	0.3	0.3
S102131	算数科教育法	牧野智彦	小学校算数科の学習指導に関わる基本的な知識の習得をねらい、算数科の目標、内容、指導方法、評価について、具体的な教材を例に挙げながら講義する。	小学校教員免許取得に必須の科目である。教科科目「算数」で教科内容の専門的理解を深めるのに対して、ここでは、教職の観点から、児童の発達に即した算数の学習指導の基本的事項を学ぶ。	・算数科の目標、内容、指導方法、評価についての基礎的な知識・技能を修得する。 ・指導案や授業展開の仕組みなど、指導法の基礎について理解する。 ・児童の算数の学習指導上の実態についての理解を深める。	0.0	0.0	0.0	0.3	0.3
S201504	初等社会科教育法	溜池善裕	小学校教科「社会」に関する教育目的・内容・方法について講義する。具体的には、小学校社会科に関する諸問題を取り上げるとともに、発問や授業構成の方法についても実際の授業場面をもとに講義する。	小学校教員免許取得のための必修科目である。教科科目「社会」で教科内容の専門的理解を行うのに対し、本授業は教職科目として小学校社会科の指導法についての基礎的知識・技能を修得する。	初等社会科の授業のもつ意義と枠割について説明することが出来る。	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2
S102220	初等社会科教育法	熊田禎介	小学校教科「社会」に関する教育目的・内容・方法について講義する。具体的には、小学校社会科の現在・歴史や諸問題を取り上げるとともに、発問や授業構成の方法についても実際の授業場面をもとに講義する。	小学校教員免許取得のための必修科目である。教科科目「社会」で教科内容の専門的理解を行うのに対し、本授業は教職科目として小学校社会科の指導法についての基礎的知識・技能を修得する。	・小学校社会科の現在・歴史や諸問題について、具体的な教材や実践例をもとに理解する。 ・発問の仕方や授業構成の方法についての基礎的知識・技能を修得する。	0.0	0.0	0.0	0.3	0.2

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (学校教育教員養成課程 共通部分)

学習・教育目標 基盤教育	(α 英語)	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる。 (B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。 (C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。 (D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。 (E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。
	(β スポーツ)	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ 教養)	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができていく。		

時間割コード	授業科目名	担当者氏名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記				
						学習・教育目標の項目との 0.0, 0.1, 0.2, . . . , 0.1 の数値で表す				
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)
S102317	初等理科教育法	人見久城, 伊東明彦, 出口明子	小学校理科に関わる目的・内容・方法等について、学習指導要領の解説、教材、授業づくりなどに関する講義を行い、精選された題目についての観察・実験を行う。	この科目は、学部専門教育科目の小学校教科教育法に関する必修科目である。小学校理科の学習内容と指導方法についての基礎的な理解を深めることを目標とする。	・小学校理科の学習内容について理解を深める。 ・小学校理科の指導方法について理解を深める。	0.0	0.0	0.0	0.3	0.2
S102317	初等理科教育法	人見久城, 伊東明彦, 出口明子	小学校理科に関わる目的・内容・方法等について、学習指導要領の解説、教材、授業づくりなどに関する講義を行い、精選された題目についての観察・実験を行う。	この科目は、学部専門教育科目の小学校教科教育法に関する必修科目である。小学校理科の学習内容と指導方法についての基礎的な理解を深めることを目標とする。	・小学校理科の学習内容について理解を深める。 ・小学校理科の指導方法について理解を深める。	0.0	0.0	0.0	0.3	0.2
S102317	初等理科教育法	人見久城, 伊東明彦, 出口明子	小学校理科に関わる目的・内容・方法等について、学習指導要領の解説、教材、授業づくりなどに関する講義を行い、精選された題目についての観察・実験を行う。	この科目は、学部専門教育科目の小学校教科教育法に関する必修科目である。小学校理科の学習内容と指導方法についての基礎的な理解を深めることを目標とする。	・小学校理科の学習内容について理解を深める。 ・小学校理科の指導方法について理解を深める。	0.0	0.0	0.0	0.3	0.2
S102317	初等理科教育法	人見久城, 伊東明彦, 出口明子	小学校理科に関わる目的・内容・方法等について、学習指導要領の解説、教材、授業づくりなどに関する講義を行い、精選された題目についての観察・実験を行う。	この科目は、学部専門教育科目の小学校教科教育法に関する必修科目である。小学校理科の学習内容と指導方法についての基礎的な理解を深めることを目標とする。	・小学校理科の学習内容について理解を深める。 ・小学校理科の指導方法について理解を深める。	0.0	0.0	0.0	0.3	0.2
S102317	初等理科教育法	人見久城, 伊東明彦, 出口明子	小学校理科に関わる目的・内容・方法等について、学習指導要領の解説、教材、授業づくりなどに関する講義を行い、精選された題目についての観察・実験を行う。	この科目は、学部専門教育科目の小学校教科教育法に関する必修科目である。小学校理科の学習内容と指導方法についての基礎的な理解を深めることを目標とする。	・小学校理科の学習内容について理解を深める。 ・小学校理科の指導方法について理解を深める。	0.0	0.0	0.0	0.3	0.2
S102317	初等理科教育法	人見久城, 伊東明彦, 出口明子	小学校理科に関わる目的・内容・方法等について、学習指導要領の解説、教材、授業づくりなどに関する講義を行い、精選された題目についての観察・実験を行う。	この科目は、学部専門教育科目の小学校教科教育法に関する必修科目である。小学校理科の学習内容と指導方法についての基礎的な理解を深めることを目標とする。	・小学校理科の学習内容について理解を深める。 ・小学校理科の指導方法について理解を深める。	0.0	0.0	0.0	0.3	0.2

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (学校教育教員養成課程 共通部分)

学習・ 基礎教育 目標	(α 英語)	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる。 (B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。 (C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。 (D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。 (E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。
	(β 保健)	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ 教養)	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができていく。		

時間割コード	授業科目名	担当者氏名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記				
						学習・教育目標の項目との 0.0, 0.1, 0.2, . . . , 0.1 の数値で表す				
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)
S102417	生活科教育法	丸山剛史	生活科の設置の背景、教科の特質、低学年児童の心理的特質、社会認識・自然認識の発達の特質などを明らかにし、生活科の指導計画の作成、教材づくり・環境構成や指導と評価の基本的在り方について講義する。	小学校教員免許を取得するための選択必修教科教育法である。低学年の発達段階に応じた教育内容及び教育方法について学ぶ。年間計画の作成、教材分析、単元計画等、教職としての基礎的技能を取得する。専門教育学習・教育目標のうち「(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる」、「(B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。」、「(C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。」、「(D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。」及び「(E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。」と深い関連がある。	・低学年児童の自己認識、社会認識、自然認識の様式を理解できるようになる。 ・生活科の指導計画の作成、教材づくり・環境構成・指導と評価について、基礎的技能を取得する。	0.0	0.0	0.0	0.2	0.1
S102425	生活科教育法	石川隆行	生活科の設置の背景、教科の特質、低学年児童の心理的特質、社会認識・自然認識の発達の特質などを明らかにし、生活科の指導計画の作成、教材づくり・環境構成や指導と評価の基本的在り方について講義する。	小学校教員免許を取得するための選択必修教科教育法である。低学年の発達段階に応じた教育内容及び教育方法について学ぶ。年間計画の作成、教材分析、単元計画等、教職としての基礎的技能を取得する。専門教育学習・教育目標のうち「(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる」、「(B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。」、「(C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。」、「(D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。」及び「(E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。」と深い関連がある。	・低学年児童の自己認識、社会認識、自然認識の様式を理解できるようになる。 ・生活科の指導計画の作成、教材づくり・環境構成・指導と評価について、基礎的技能を取得する。	0.0	0.0	0.0	0.2	0.1

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (学校教育教員養成課程 共通部分)

学習・教育目標 基礎教育	(α) 英語	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる。 (B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。 (C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。 (D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。 (E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。
	(β) 保健	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ) 教養	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができていく。		

時間割コード	授業科目名	担当者氏名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記				
						学習・教育目標の項目との 0.0, 0.1, 0.2, . . . , 0.1 の数値で表す				
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)
S102527	初等家庭科教育法	赤塚朋子, 清水裕子	小学校の家庭科教育の位置づけの変遷を歴史的に概観し、教科観について検討するとともに実地指導講師等による授業実践例をもとに授業案をつくり、小学校家庭科の基本的な知識を学びます。		初等教育における家庭科教育の位置づけ、教育目標、教育内容、領域、学習形態等、家庭科の教科としての特徴を理解し、授業例を手がかりに指導案の作成を行い、家庭科の授業をつくる力をつけることを目標とします。	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2
S102531	初等家庭科教育法	赤塚朋子, 清水裕子	小学校の家庭科教育の位置づけの変遷を歴史的に概観し、教科観について検討するとともに実地指導講師等による授業実践例をもとに授業案をつくり、小学校家庭科の基本的な知識を学びます。		初等教育における家庭科教育の位置づけ、教育目標、教育内容、領域、学習形態等、家庭科の教科としての特徴を理解し、授業例を手がかりに指導案の作成を行い、家庭科の授業をつくる力をつけることを目標とします。	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2
S102603	初等音楽科教育法	小原伸一	小学校音楽科の教科目標や内容、学習指導計画等について、学習指導要領の教科「音楽」の内容を基にして、適宜実技を交えながら解説を中心に講義を行う。また、実地指導講師による音楽指導の実践例を通して、小学校における具体的な教材やその指導方法について学び、実技を含む教科の特徴をふまえて教科理解を深める。	小学校教諭免許取得のための専門教育科目。学部専門教育科目の教育基礎科目群・小学校教科教育法の中の開設科目。小学校の教科「音楽」について基本的な教科理解をするとともに、各自が習得している音楽の基礎知識・技能を小学校音楽科の授業実践に向け効果的に応用し実践するための方法論の基礎を学ぶ。	・小学校音楽科の目標や学習指導内容、学習指導計画など基本的な事柄について理解する。 ・教科についての基礎的な理解をふまえて、音楽実技を適切に用いた学習指導計画(学習指導案)を構成することができる。 ・音楽指導への熱意を持ち自己の音楽経験を生かし、学習指導を工夫して実践しようとする積極的な発想を持つ。	0.0	0.0	0.0	0.3	0.3
S102611	初等音楽科教育法	新井恵美	小学校における音楽科について、目標、内容、領域、歴史などを扱うとともに、指導に必要な知識・技能を修得するための演習や演奏等も行う。	小学校教諭免許取得に必須の科目。小学校の発達段階に応じた教育内容・方法を修得する。	小学校における音楽科について、目標、内容、領域、歴史などを理解するとともに、指導に必要な知識・技能を修得する。	0.0	0.0	0.0	0.3	0.3
S102719	図画工作科教育法	本田悟郎	小学校図画工作科に関する基礎的事項について取り上げる。学習指導要領や図画工作の現況および今日の諸課題、また、理論と歴史などから抽出される学的諸問題から図画工作の教科性を解説・講義する。	図画工作科の今日的課題と役割について問題意識を高め、小学校教員としての基礎的能力を育むことに対応している。	学校教育における図画工作科の位置づけと成り立ちを理解するとともに、地域社会における美術教育全般の諸問題や美術そのものへの見解も広げ、小学校教員としての総合的な教育観を持てることを目標とする。	0.0	0.0	0.0	0.2	0.3

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (学校教育教員養成課程 共通部分)

学習・教育目標 基盤教育	(α 英語)	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる。 (B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。 (C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。 (D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。 (E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。
	(β スポーツ)	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ 教養)	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができていく。		

時間割コード	授業科目名	担当者氏名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記				
						学習・教育目標の項目との 0.0, 0.1, 0.2, . . . , 0.1 の数値で表す				
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)
S102808	図画工作科教育法	本田悟郎	小学校図画工作科に関する基礎的事項について取り上げる。学習指導要領や図画工作の現況および今日の諸課題、また、理論と歴史などから抽出される学的諸問題から図画工作の教科性を解説・講義する。	図画工作科の今日的課題と役割について問題意識を高め、小学校教員としての基礎的能力を育むことに対応している。	学校教育における図画工作科の位置づけと成り立ちを理解するとともに、地域社会における美術教育全般の諸問題や美術そのものへの見も広げ、小学校教員としての総合的な教育観を持つことを目標とする。	0.0	0.0	0.0	0.2	0.3
S102832	初等体育科教育法	加藤謙一	発育発達をふまえながら小学校体育の学習・指導のあり方を概説し、その実践例に触れ、指導法を理解する。	学校教育教員養成課程共通科目における小学校教科教育法の選択専門教育科目として、小学校の教員に求められる体育科指導における知識や技能を身に付ける科目としての意義を持つ。	・体育に必要な基礎的知識を理解することができる。 ・体育における基礎的な指導方法を理解することができる。 ・体育の指導計画および学習指導案を作成することができる。	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2
S102808	初等体育科教育法	茅野理子	体育科の目標と内容、児童の発達特性と学習課題、運動の特性とその効果的な指導法や指導計画の立案などについて、実践例を紹介しながら概説する。	学校教育教員養成課程共通科目における小学校教科教育法の選択専門教育科目として、小学校の教員に求められる体育科指導における知識や技能を身に付ける科目としての意義を持つ。	・体育に必要な基礎的知識を理解することができる。 ・体育における基礎的な指導方法を理解することができる。 ・体育の指導計画および学習指導案を作成することができる。	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2
S102816	初等体育科教育法	國谷 優	発育発達をふまえながら小学校体育の学習・指導のあり方を概説し、その実践例を紹介する。	学校教育教員養成課程共通科目における小学校教科教育法の選択専門教育科目として、小学校の教員に求められる体育科指導における知識や技能を身に付ける科目としての意義を持つ。	・体育に必要な基礎的知識を理解することができる。 ・体育における基礎的な指導方法を理解することができる。 ・体育の指導計画および学習指導案を作成することができる。	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2
S102824	初等体育科教育法	國谷 優	発育発達をふまえながら小学校体育の学習・指導のあり方を概説し、その実践例を紹介する。	学校教育教員養成課程共通科目における小学校教科教育法の選択専門教育科目として、小学校の教員に求められる体育科指導における知識や技能を身に付ける科目としての意義を持つ。	・体育に必要な基礎的知識を理解することができる。 ・体育における基礎的な指導方法を理解することができる。 ・体育の指導計画および学習指導案を作成することができる。	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2

教育展開科目群

選択教職科目

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (学校教育教員養成課程 共通部分)

学習・ 基礎教育 教育目標	(α) 英語	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる。 (B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。 (C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。 (D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。 (E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。
	(β) 保健	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ) 教養	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができていく。		

時間割コード	授業科目名	担当者氏名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記				
						学習・教育目標の項目との 0.0, 0.1, 0.2, . . . , 0.1 の数値で表す				
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)
S107964	ものづくり教育	吉米地義郎, 戸田富士夫, 松原真理	ものづくりを通して、その奥に隠されている原理、原則を知り、生活にどのようにして役立てられているのか、ものづくりを通して知見を広めることに主眼をおく講義とする。	小学校ものづくりに技術的素養を高めるためのPCDAを行う。	・ものづくりは人間形成に役立つ物事の順序・コミュニケーション力および人との和を理解できるようになる。 ・一人一人がものの価値を知り、製造から廃棄までのことを考えられ、製品を選択できるようになる。	0.0	0.0	0.0	0.3	0.2
S107508	子どもと教育」探求	未定	家庭教育及び幼児教育、小学校、中学校、高等学校、地域社会の教育に関する諸制度や教育の現状、課題等について理解を深め、子供達の「生きる力」を育む教育の在り方について探求する。	小・中・高等学校の教員免許を取得するために必要な「教職」に関する選択必修科目である。	家庭教育、小学校、中学校、高等学校、地域社会における教育の課題及びそこで求められる資質・指導力とは何かを理解することができる。	0.0	0.0	0.0	0.2	0.3
S802400	学習臨床学	久保田善彦	子どもたちがより深く学ぶことのできる学習環境を実現するために、学習環境デザインの基本的な考え方や改善のサイクルを習得する。	学部専門教育科目の中の選択教職科目の1つである。専門教育学習・教育目標のうち「(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる」、「(B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。」、「(C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。」、「(D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。」及び「(E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。」と深い関連がある。	・学習環境デザインの主要な概念について、説明することができる。 ・授業の中でどのような学びが生じていたのか、グループで分析することができる。 ・学習環境デザインの視点から、グループで授業を再デザインすることができる。 ・学習環境デザインの視点を生かして、グループで模擬授業を実施することができる。	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (学校教育教員養成課程 共通部分)

学習・教育目標 基盤教育	(α) 英語	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる。 (B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。 (C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。 (D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。 (E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。
	(β) スポーツ	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ) 教養	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができていく。		

時間割コード	授業科目名	担当者氏名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記				
						学習・教育目標の項目との 0.0, 0.1, 0.2, . . . , 0.1 の数値で表す				
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)
S107648	教育臨床学演習Ⅰ	川原誠司	教育における臨床的な問題について演習形式でじっくり学んでいく。Ⅰでは「教育するという行為を支える5つの意識」について、エゴグラムをもとにして検討していく。基本的な文献や資料を検索・整理、視聴してもらい、発表する。	本授業は、学校教育教員養成課程の「教科又は教職」(2014年度履修表まで)、総合人間形成課程人間発達領域の「領域専門科目」であり、領域における専門性を高めるという目標に対応している。専門教育学習・教育目標のうち「(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる」、「(B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。」、(D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。」及び「(E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。」と深い関連がある。	・教育(に関する)現場における「子どもに寄り添うこと」の意義とその難しさをつかむ。 ・支える者のあり方や子どものあり方の心理的な側面について、理解を得る。 ・教養で、支える者になるということについての意味を考え、自分自身に必要な視点や意識・態度を修得する。	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2
S107656	教育臨床学演習Ⅱ	川原誠司	教育における臨床的な問題について演習形式で学んでいく。Ⅱでは「教師のストレスとその対応」について考える。授業では「教師」のストレスに主に焦点を当てるが、これは教師に留まらず、対人関係に関する様々な職業における問題と関連づけることができる。	本授業は、学校教育教員養成課程の「教科又は教職」(2014年度履修表まで)、総合人間形成課程人間発達領域の「領域専門科目」であり、領域における専門性を高めるという目標に対応している。専門教育学習・教育目標のうち「(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる」、「(B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。」、(D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。」及び「(E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。」と深い関連がある。	・対人現場における「職業的対応の難しさ」「自らが成長することの意義」といったものを学ぶ。 ・支える者のあり方の心理的な側面について学ぶ。 ・教養で、支える者になるということについての意味を考え、自分自身に必要な視点や意識・態度を修得する。	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (学校教育教員養成課程 共通部分)

学習・教育目標 基礎教育	(α) 英語	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる。 (B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。 (C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。 (D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。 (E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。
	(β) ボー健	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ) 教養	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができてい		

時間割コード	授業科目名	担当者氏名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記				
						学習・教育目標の項目との 0.0, 0.1, 0.2, . . . , 0.1 の数値で表す				
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)
S107664	カウンセリング実習	川原誠司	カウンセリングや対人援助の実践的な練習や体験、社会参加等を行い、自らの関わりを内省し、よりよく人の話を聴き、理解し、関わるスキルを向上させる。	本授業は、学校教育教員養成課程の「教科又は教職」(2014年度履修表まで)、総合人間形成課程開発領域の「領域専門科目」であり、領域における専門性を高めるという目標に対応している。専門教育学習・教育目標のうち「(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる」、(D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。」及び「(E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。」と深い関連がある。	・カウンセリングの基本的なスタイル、基本的なスキルを修得する。 ・人の話を「聴く」こと、人を理解することの大切さと難しさを実感する。 ・他者との実際の関わりの中での自分のありようを内省する。	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0
未定	ールソーシャルワ	長谷川万由美	スクールソーシャルワークの歴史および意義、実践理論と方法を学ぶことを通じて、現代社会において複雑化する子どもをめぐる課題に対処するための心構えや、多様な機関・組織との連携の必要性を理解する。	学部専門教育科目の中の選択教職科目の1つである。	今日の学校教育現場にスクール (学校) ソーシャルワーカーを導入する意義とその必要性を理解し、ソーシャルワークの基本を身につける。	0.0	0.0	0.0	0.3	0.3
S107800	総合学習の指導	川島芳昭	小・中・高等学校で実施されている「総合的な学習の時間」の学習指導を実践するための基礎的な知識・技能を習得します。	小・中・高等学校の教員免許を取得するために必要な「教職」に関する選択必修科目であり、教育学部の教育目標「教職・教科に関する知識を習得し、自らの専門分野について深く理解する」に対応しています。具体的には、教員に求められる「総合的な学習の時間」に関する知識や指導法を修得し、課題解決の意義を知ることをめざします。専門教育学習・教育目標のうち「(B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。」、「(C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。」、(D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。」及び「(E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。」と深い関連がある。	従来の総合学習の理論や実践を概観するとともにカリキュラムにおける統合や教育方法の特質を理解することが大切です。その上で、小・中・高の各学校における「総合的な学習の時間 (以下 総合学習)」が設置された背景やねらい、その教育的意義について理解を深めるとともに、総合学習の実践事例等を参考に指導に必要な基本的な考え方を身に付けることを到達目標としています。	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (学校教育教員養成課程 共通部分)

学習・教育目標 基盤教育	(α) 英語	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる。 (B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。 (C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。 (D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。 (E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。
	(β) ボ健	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ) 教養	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができていく。		

時間割コード	授業科目名	担当者氏名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記				
						学習・教育目標の項目との 0.0, 0.1, 0.2, . . . , 0.1 の数値で表す				
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)
S108008	野外教育	坂本宏夫	野外教育は、今日の文明社会で共通体験として望まれる豊かな自然環境のもとでの児童生徒たちの体験活動の指導の基本について理論的かつ実践的に学ぶことを目的とする。小・中学校教育の場では、自然体験活動を一層長期にわたって実施する取り組みが進められ、これら学校のすべての教員にこの種の体験活動を指導する能力が求められている。	児童生徒の自然体験不足や人間関係能力の未成熟などの問題が指摘されている今日、自然の中で、いかにして児童生徒の自主的な集団活動を創り出し、指導していくかについてを実践的に学ぶ本科目は、教職課程の目的達成のために重要な現代的科目といえる。	○自然の中での諸活動を自ら行う知識及び技能。 ○子どもに応じて自然の中で積極的に活動する態度を育てるための基本的知識及び技能。 ○活動の中で得られる体験的知識と教科等の学習内容を適切に結びつける基本的知識。	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2
S108105	視聴覚教育	藤本 一男	Googleなどで用いられているハイパーテキスト一致分析等、身近になった情報技術を実際に見せながら、視聴覚教育メディアの意義と学習支援の方法についての理解を図る。	小・中・高等学校の教員免許を取得するために必要な“教職”に関する選択必修科目である。教員に求められる「視聴覚教育」に関する知識や指導法を修得させ、視聴覚教育メディアの意義と学習支援の方法を学ぶ。	・「思考の道具」としてコンピュータを知る。 ・ハイパーテキストの実践がわかる。 ・マルチメディアムービーが作成できる。 ・デジタル化と著作権問題について知る。 ・情報技術と倫理について考察できる。	0.0	0.0	0.0	0.3	0.3

教育実践科目群

教育実習

事前事後指導	南伸昌, 他	主に教育実習Ⅱの事前指導として、実習の心構えと勤務、教員の服務、学校の教育課程等について学ぶ。また同実習の事後指導として、実習についての反省等をレポートとして作成し、それに基づく討論をおこなう。	学部専門教育科目教育実践科目群の教育実習で、教員免許取得のための必修科目である。	実習をおこなうために必要な教員の服務規程、学校の教育課程、指導案の作成の方法等について知る。	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2
小学校・中学校教育実習Ⅰ	南伸昌, 他	学校現場を実地に観察することを通して、実際の授業のあり様、子どもの学校生活の実態などを知る。	学部専門教育科目教育実践科目群の教育実習で、教員免許取得のための必修科目である。	学校現場の観察・参加を通して教育実習Ⅱに向けての意欲を喚起し、これから学ぶ事柄の課題設定を行うことができる。	0.0	0.0	0.0	0.2	0.3

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (学校教育教員養成課程 共通部分)

学習・教育目標 基盤教育	(α) 英語	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる。 (B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。 (C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。 (D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。 (E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。
	(β) スポーツ健康	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ) 教養	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができていく。		

時間割コード	授業科目名	担当者氏名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記				
						学習・教育目標の項目との 0.0, 0.1, 0.2, . . . , 0.1 の数値で表す				
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)
	小学校・中学校 教育実習Ⅱ	南伸昌, 他	3週間の附属学校教育実習を行うことにより、授業の実際、子どもの実態、学校現場の状況に関する理解を深める。	学部専門教育科目教育実践科目群の教育実習で、教員免許取得のための必修科目である。	教職実習をおこなうことによって、教職の本質を理解し、またどのような学習・研究が今後求められるのかを理解する。教職に対してさらなる意欲をもつ。	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2
	小学校・中学校 教育実習Ⅲ	南伸昌, 他	二週間の一般学校(公立小学校あるいは中学校)の実習をおこなうことによって、教職の本質についての理解を深める。	学部専門教育科目教育実践科目群の教育実習で、教員免許取得のための必修科目である。	教職実習をおこなうことによって、教職の本質をさらに理解し、実践的指導力をさらに向上させる。教職に対して、さらに一層の意欲をもつ。	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2
	特別支援学校教育実習	南伸昌, 他	附属特別支援学校における実習を通して、特別支援教育に関わる実践的指導力を身につける。	学部専門教育科目教育実践科目群の教育実習で、「特別支援学校」の免許を取得するための必修科目である。	教職実習をおこなうことによって、特別支援教職の本質を理解し、またどのような学習・研究が今後求められるのかを理解する。特別支援学校の教職に対してさらなる意欲をもつ。	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2
	幼稚園教育実習	南伸昌, 他	幼稚園における教育実習を通して、幼稚園教育に関わる実践的指導力を身につける。	学部専門教育科目教育実践科目群の教育実習で、幼稚園教諭免許のための必修科目ではないが、幼児理解、実践的指導力を育むために履修を推奨する科目である。	教職実習をおこなうことによって、幼児教育の本質を理解し、またどのような学習・研究が今後求められるのかを理解する。幼稚園の教職に対してさらなる意欲をもつ。	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2

教職実践総合科目

S103006	教職入門セミナー	南伸昌, 他	教職の意義について考え、教師という仕事や学校教育の現状に関する基本的な内容を扱う。	学部専門教育科目教育実践科目群の教育実践総合科目で、教員免許取得のための必修科目である。教職に関する基礎的な知識を獲得するとともに、主体的に物事を考察する基本的な態度・意欲を養う。	・教職に対する関心を深め、教員が学校で行っている仕事について理解をする。 ・教職に対する意欲を喚起する機会とする。	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2
---------	----------	--------	---	--	--	-----	-----	-----	-----	-----

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (学校教育教員養成課程 共通部分)

学習・ 基礎教育 教育目標	(α) 英語	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる。 (B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。 (C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。 (D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。 (E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。
	(β) 保健	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ) 教養	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができていく。		

時間割コード	授業科目名	担当者氏名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記				
						学習・教育目標の項目との 0.0, 0.1, 0.2, . . . , 0.1 の数値で表す				
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)
	教職入門	南伸昌, 他	教職の意義について考え、教師という仕事や学校教育の現状に関する基本的な内容を扱う。	学部専門教育科目教育実践科目群の教育実践総合科目で、教員免許取得のための必修科目である。教職に関する基礎的な知識を獲得するとともに、主体的に物事を考察する基本的な態度・意欲を養う。	・教職に対する関心を深め、教員が学校で行っている仕事について理解をする。 ・教職に対する意欲を喚起する機会とする。	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2
	教職実践演習	南伸昌, 他	これまでに習得した理論的知識、実践的指導力を基に、主に模擬授業・研究授業等の実践を通して、子ども理解、教職への使命感・責任感、教育的愛情、対人的関係能力、教科指導にかかわる資質を向上させる。	学部専門教育科目の教職実践総合科目で、教員免許取得のための必修科目である。	模擬授業・研究授業等の実践を通して、子ども理解、教職への使命感・責任感、教育的愛情、対人的関係能力、教科指導にかかわる自らの資質能力を振り返り、最終確認する。それにより、教職に対して自信を持って臨めるようにする。	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2
S100451	教育実践インターンシップ	上原秀一, 牧野智彦	学校等の教育関係施設において、その管理下にある指導者のもとに、放課後の学習支援、授業や部活動の補助など、さまざまな体験的活動を行い、大学で行われる「振り返り」に参加することで、自らの体験を省察する。	学部専門教育科目教育実践科目群の教育実践総合科目であり、選択科目である。専門教育学習・教育目標のうち「(D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。」及び「(E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。」と深い関連がある。	・学校等の教育関係施設における体験とその省察により、教員としての実践的指導力の一端を身につける。	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	教育実践研究	各教員	附属学校あるいは一般学校等の教育機関において、大学の授業あるいは教育実習等で自覚したテーマ(教育内容、教育方法、教材研究に関わるもの等)について実践的に研究をおこなう。	学部専門教育科目教育実践科目群の教育実践総合科目であり、選択科目である。	学校現場において、自らの研究テーマを実践的に探求することを通して、理論と実践を統合する力、また省察する力を獲得する。	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2